

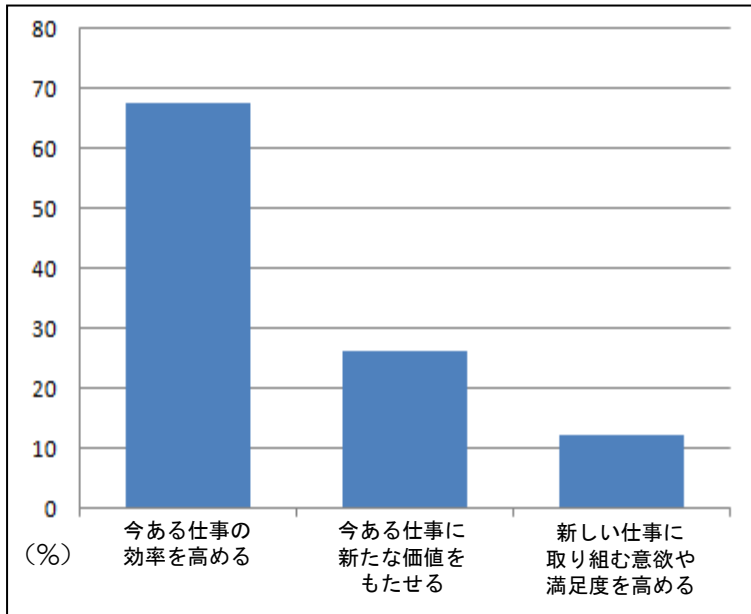
総合問題（その1）

- ① 総合問題は、その1、その2、その3、その4、その5の5枚です。
 ② 答えはすべて の解答らん^まに書きなさい。
 ③ 解答らん以外の空いている所には、答えを出すためのメモ、図などを書いてかまいません。

受検番号

あなたは、総合的な学習の時間で「日本のこれからの社会」をテーマに学習しています。その中で、あなたと同じグループのAさんは、これまで人間が機械やコンピュータを操作していたのに対し、人間の代わりに人工知能（AI：Artificial Intelligenceの略）が機械を操作する時代になりつつあるということに興味をもち、日本の会社がAIについてどのように考えているのかを調べました。図1はAさんが見つけた資料で、「日本の会社アンケート：考えられるAIの活用の目的」を表したものです。次の問いに答えなさい。

【図1 日本の会社アンケート：考えられるAIの活用の目的】



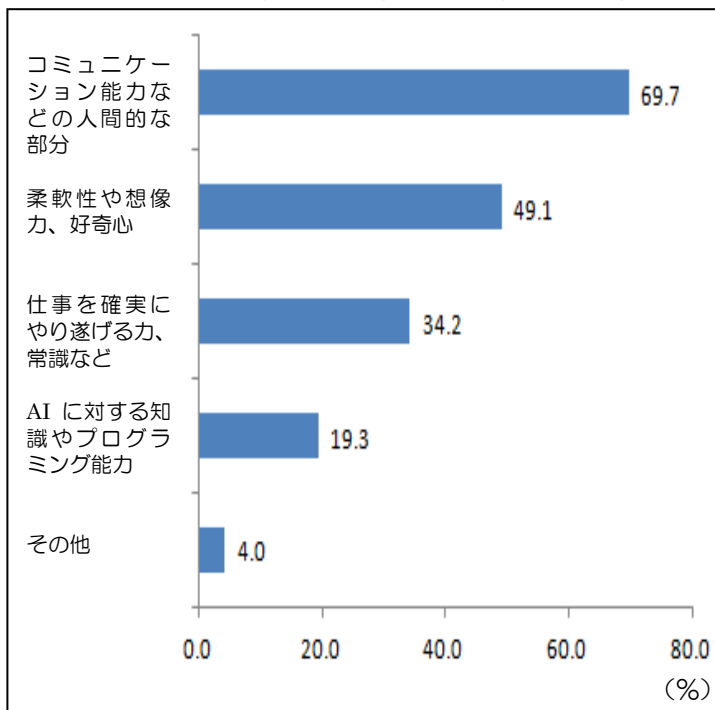
「平成29年度版労働経済白書」（厚生労働省）の資料を基に作成

(1) 図1から読み取れる内容について、下のア～エの中からもっとも適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 図1は、日本の会社105社からアンケートを取ったものであり、各社で考えられているAIの活用の目的をまとめている。一番多い回答は、「今ある仕事の効率を高める」である。
 イ 日本の会社の多くは、今ある仕事の効率を高めることを、AIの活用の目的としている。一方、新しい仕事に取り組む意欲や満足度を高めることをAIの活用の目的としている会社は12%程度である。
 ウ 日本の70%以上の会社が、AIの活用によって新しい仕事に取り組む意欲や満足度を高めることはできないものの、今ある仕事の効率を高めることができる、と考えている。
 エ 日本の会社の多くが、AIを活用することによって今ある仕事に新たな価値をもたせることとなり、その結果、新しい仕事に取り組む意欲や満足感を高めることにつながる、と考えている。

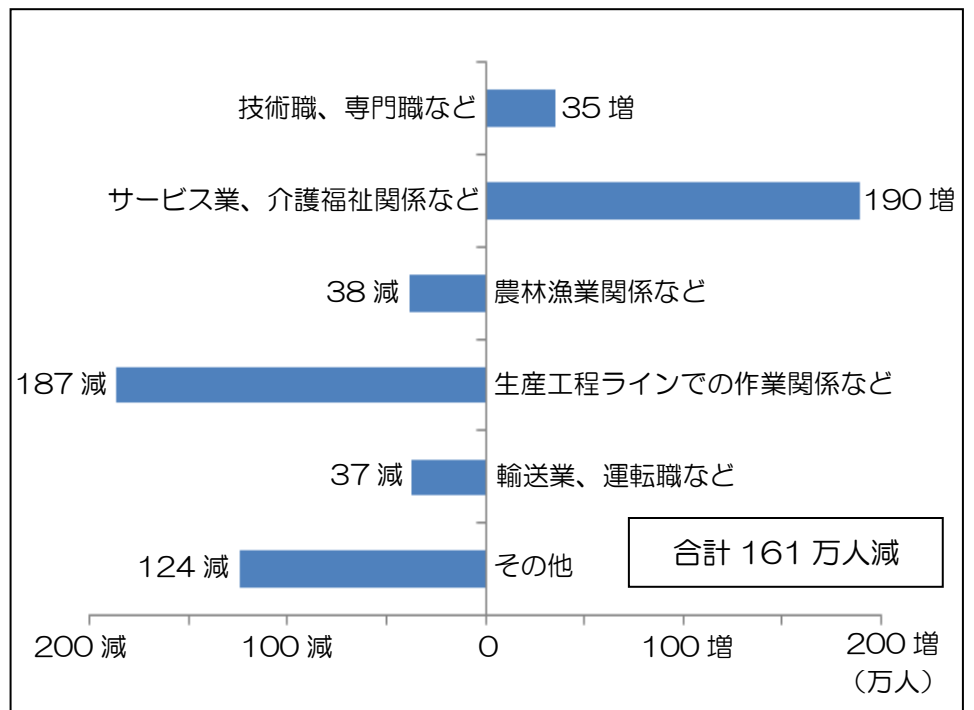
次に、グループのメンバーが「AIによる職業の変化」に関する図2や図3の資料を見つけました。図2は、複数の日本の会社に「2030年に採用される社員に必要だと思う能力など」についてアンケートを取ったものです。図3は日本の専門家が予測した「2030年におけるAIの広まりによる労働者の職業別の増減」を、現在と比べて表したものです。次の問いに答えなさい。

【図2 2030年に採用される社員に必要だと思う能力など】



「平成29年度版労働経済白書」（厚生労働省）の資料を基に作成

【図3 2030年におけるAIの広まりによる労働者の職業別の増減】



「平成29年度版労働経済白書」（厚生労働省）の資料を基に作成

総合問題（その2）

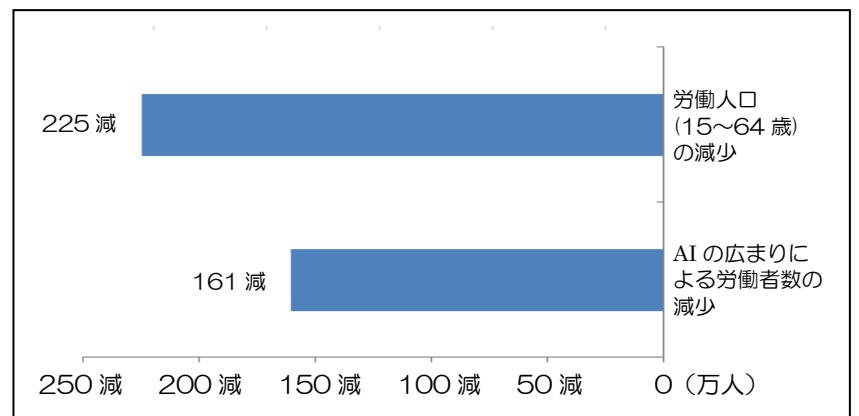
- ① 総合問題は、その1，その2，その3，その4，その5の5枚です。
- ② 答えはすべて の解答らん^まに書きなさい。
- ③ 解答らん以外の空いている所には、答えを出すためのメモ、図などを書いてかまいません。

受検
番号

- (2) あなたは、2030年にどのような能力などが必要であると考えますか。一つ取り上げて、図2と図3とを関係付け、その理由も含めて、答えなさい。

さらにグループで調査を進めると、次の資料が見つかりました。図4は、日本の専門家が予測した「2030年における日本全体の労働人口の減少とAIの広まりによる労働者数の減少」を、現在と比べて表したものです（ここでいう労働人口とは、15歳から64歳までの人数を指します）。また、コラム①とコラム②は、それぞれ新聞記者が書いたものです。次の問いに答えなさい。

【図4】 2030年における
日本全体の労働人口の減少とAIの広まりによる労働者数の減少



「平成29年度版労働経済白書」(厚生労働省)の資料を基に作成

【コラム①】

「人類がAIと共に生きる時代」

人類と同等の知能をもつAIが組み込まれたロボット。そう遠くない未来、彼らが多数登場し人類の生活は大きく変わります。生活や産業のあらゆる場面でAIを組み込んだロボットが活躍し、人間を助けてくれます。ある有名な会社の経営者は「我が社が開発したAIが人類の仲間となって一緒に活動し、人類に足りない部分をおぎなってくれる。そして、人類のあらゆる歴史や文化を学んだAIが、人類を大災害や不治の病から守ってくれるようになる」と語っています。つまり、人類がAIと共生する社会となるということです。

【コラム②】

「AIが人類の予想を超える」

人類はこれまでAIを大きく進歩させてきた。しかし、技術の最先端で開発を続けてきたある研究者は次のように語っている。「完全なAIを開発できたなら、それはAIが人類を超えることを意味するかもしれない」と。さらに彼は「AIが自分の意志をもって自立し、さらにこれまでにないような早さで能力を高め、自分自身を設計し直すこともあり得る。AIは、良い意味でも悪い意味でも、人類の予想を超えるであろう」と続けた。

総合問題（その3）

- ① 総合問題は、その1、その2、その3、その4、その5の5枚^{まい}です。
- ② 答えはすべて の解答らん^{らん}に書きなさい。
- ③ 解答らん以外の空いている所には、答えを出すためのメモ、図などを書いてかまいません。

受
検
番
号

- (3) あなたと同じグループのBさんは、「AIの広まりによって人間の職業が奪われる」という考えをもちました。あなたは、この考えに賛同しますか。それとも、賛同しませんか。どちらかを選び、その理由を答えなさい。なお、理由の中に、図4、コラム①、コラム②の3つ全ての資料の内容を必ず入れなさい。

「AIの広まりによって人間の職業が奪われる」というBさんの考えに、

賛同します / 賛同しません (←いずれかを○で囲むこと)

以下に、あなたの理由を書きなさい。

総合問題（その4）

- ① 総合問題は、その1、その2、その3、その4、その5の5枚です。
- ② 答えはすべて の解答らん^まに書きなさい。
- ③ 解答らん以外の空いている所には、答えを出すためのメモ、図などを書いてかまいません。

受
検
番
号

あなたは、総合的な学習の時間で「日本のこれからの社会」をテーマに学習しています。その中で、あなたと同じグループのCさんは、新聞で見た「働き方改革」に関する記事に興味をもち、これからの社会では労働時間が減り、その分、余か（しなければならないことからなれ、自由に使える時間）が増えると考え、日本人が余かをどのように過ごしているのかを調べました。

図5は、余かにおこなった活動とその活動をした人数の上位5つを、平成18年と平成28年で比較したものです。次の問いに答えなさい。

【図5 余かにおこなった活動とその活動をした人数（万人）】

＜平成18年の調査結果＞			＜平成28年の調査結果＞		
順位	余かにおこなった活動	活動人数 (万人)	順位	余かにおこなった活動	活動人数 (万人)
1位	外 食	7,160	1位	国内観光旅行	5,330
2位	国内観光旅行	5,720	2位	外 食	4,090
3位	ドライブ	5,110	3位	ドライブ	3,880
4位	宝くじ	4,600	3位	読 書	3,880
5位	カラオケ	4,290	5位	映画鑑賞	3,560

「レジャー白書 2007, レジャー白書 2017」(公益財団法人日本生産性本部)の資料を基に作成

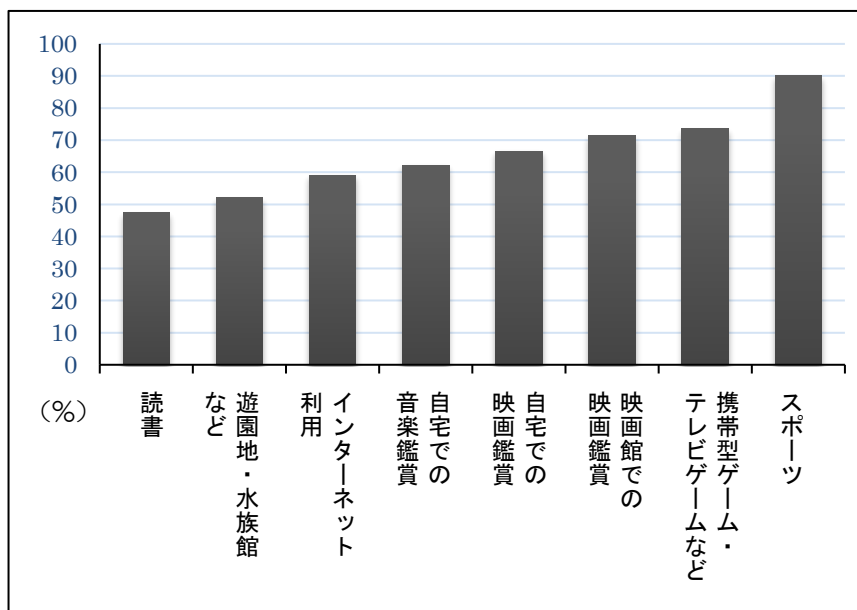
(4) 図5から読み取れる内容について、下のア～エの中からもっとも適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 平成18年に比べて、平成28年では、休みの日に国内観光旅行に出かける人が増えた。
- イ 平成28年よりも平成18年の方が、外食で使う一人あたりの金額が多い。
- ウ 平成18年も、平成28年も余かにおこなう活動の上位2つは同じ活動である。
- エ 平成28年よりも平成18年の方が、いろいろな余かの過ごし方があった。



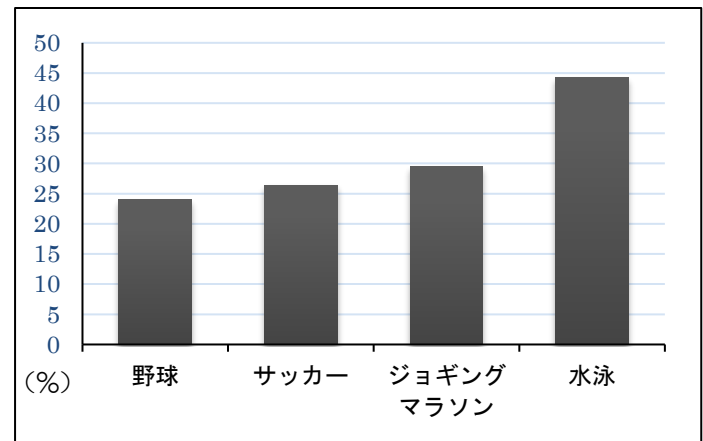
Cさんは、図5の資料を見たときに、自分の余かの過ごし方とだいぶ違うと感じました。そこで、子どもの余かの過ごし方について調べました。図6は「子ども（10～14歳）が余かにおこなった活動の上位8種類とその割合」を、図7は「子ども（10～14歳）が余かにおこなったスポーツの上位4種目とその割合」を表しています。

【図6 子ども(10～14歳)が余かにおこなった活動の上位8種類とその割合】



「平成28年社会生活基本調査結果」(総務省統計局)
(<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/>)を加工して作成

【図7 子ども(10～14歳)が余かにおこなったスポーツの上位4種目とその割合】



「平成28年社会生活基本調査結果」(総務省統計局)
(<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/>)を加工して作成

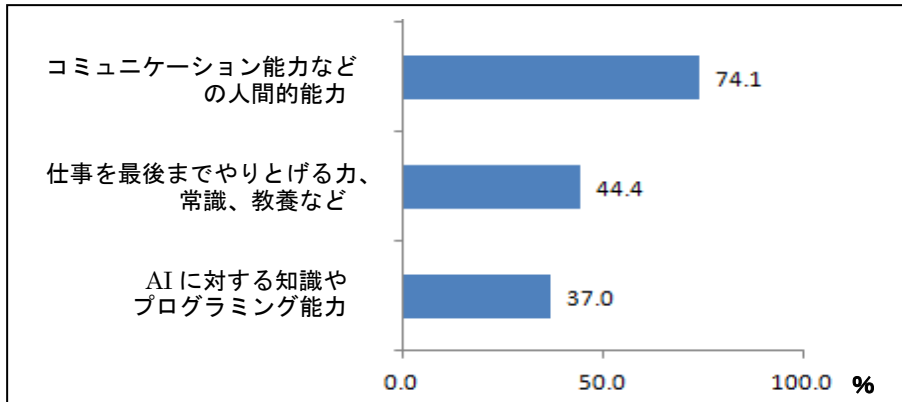
総合問題（その5）

- ① 総合問題は、その1，その2，その3，その4，その5の5枚です。
- ② 答えはすべて の解答らん^まに書きなさい。
- ③ 解答らん以外の空いている所には、答えを出すためのメモ、図などを書いてかまいません。

受検番号

さらにCさんは、自分たちが大人になる頃の社会の様子も気になり、図8の資料も探し出しました。図8は「2030年において求められる能力など（専門家アンケート）」を表しています。

【図8 2030年において求められる能力など（専門家アンケート）】



「平成29年度版労働経済白書」（厚生労働省）の資料を基に作成

これらの資料を見ていた同じグループのAさんが、次のように発言しました。

Aさん：① 2030年にもっとも求められている能力が身につかないように思えて、少し心配だね。

この発言をきっかけに、グループのメンバーで以下のような意見が交わされました。

Cさん： どうしてそう思ったの。

Aさん： だって、余かにおこなっていることの多くが、一人でやることなんだもの。

Cさん： たしかにそうだね。私も、一人で「インターネット利用」が多いな。

Bさん： 僕は、② 2030年にもっとも求められている能力が身につかない、とは言い切れないと思うよ。

(5) 同じ図6，図7，図8の3つの資料を見ているはずのAさんとBさんと、下線部①，②のように、意見が違います。

Aさん，Bさん，それぞれの意見の理由を答えなさい。なお，理由の中に，図6，図7，図8の3つ全ての資料の内容を必ず入れなさい。

Aさんの意見の理由

Bさんの意見の理由